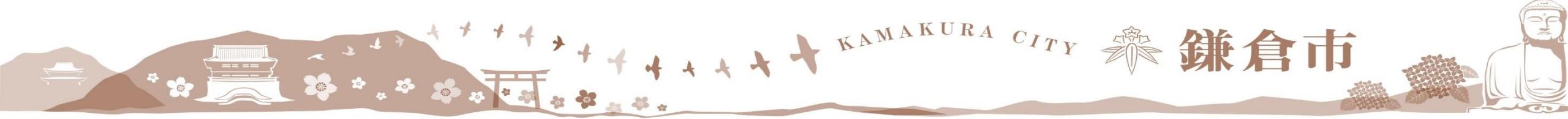


# (仮称) 雪ノ下消防出張所の整備について

鎌倉市  
消防本部

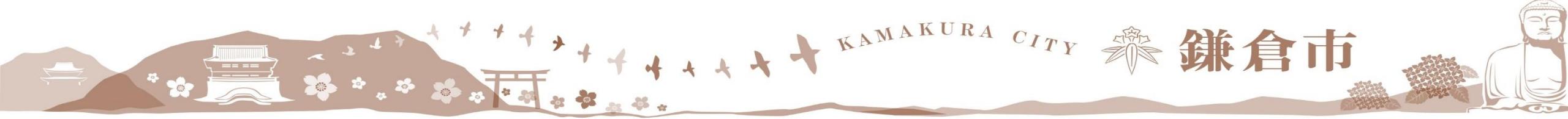
消防総務課



鎌倉市

# 本日のテーマ

- 1 計画・目的
- 2 騒音調査結果の説明
- 3 騒音予測結果の説明
- 4 設計業者の決定
- 5 今後の流れ



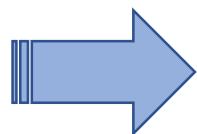
# 1 計画・目的

# 事業計画

令和6年3月に改訂した「鎌倉市公共施設再編計画」において、消防施設全体の再編方針として、消防署・出張所等の複合化・移転・統合を行うことや、津波浸水へ対応するため津波の影響の少ない場所への移転などを計画しています。

## 建設候補地の条件

- (1) 現在の2つの施設の受持ちエリアをカバーできる場所
- (2) 津波浸水想定区域外
- (3) 土砂災害特別警戒区域外
- (4) 幹線道路沿い



上記の条件を考慮し、  
雪ノ下近辺での整備が適切  
と判断しました。

# 現状と課題

## 【鎌倉消防署】



昭和49年に竣工して以来、51年の月日が経過しており、建物本体の老朽化で不具合が相次いで発生し、特に塩害により外壁の劣化が進み、早期の建替えが必要な状況です。

現在地は、津波浸水想定区域内に位置していることから、大規模地震による津波発生時の消防力の機能維持が困難な状況であり移転整備が必要です。

## 【浄明寺出張所】

昭和53年に竣工して以来、47年の月日が経過しており、建物本体の老朽化で不具合が相次いで発生している状況です。現在地は、土砂災害特別警戒区域に位置していることから、土砂災害時の消防力の機能維持が困難な状況であり、南東側が逗子市に位置しているため、鎌倉地域の消防力を効率的に発揮するためには、現在地から移転しての整備が必要です。





KAMAKURA CITY



鎌倉市

横浜市

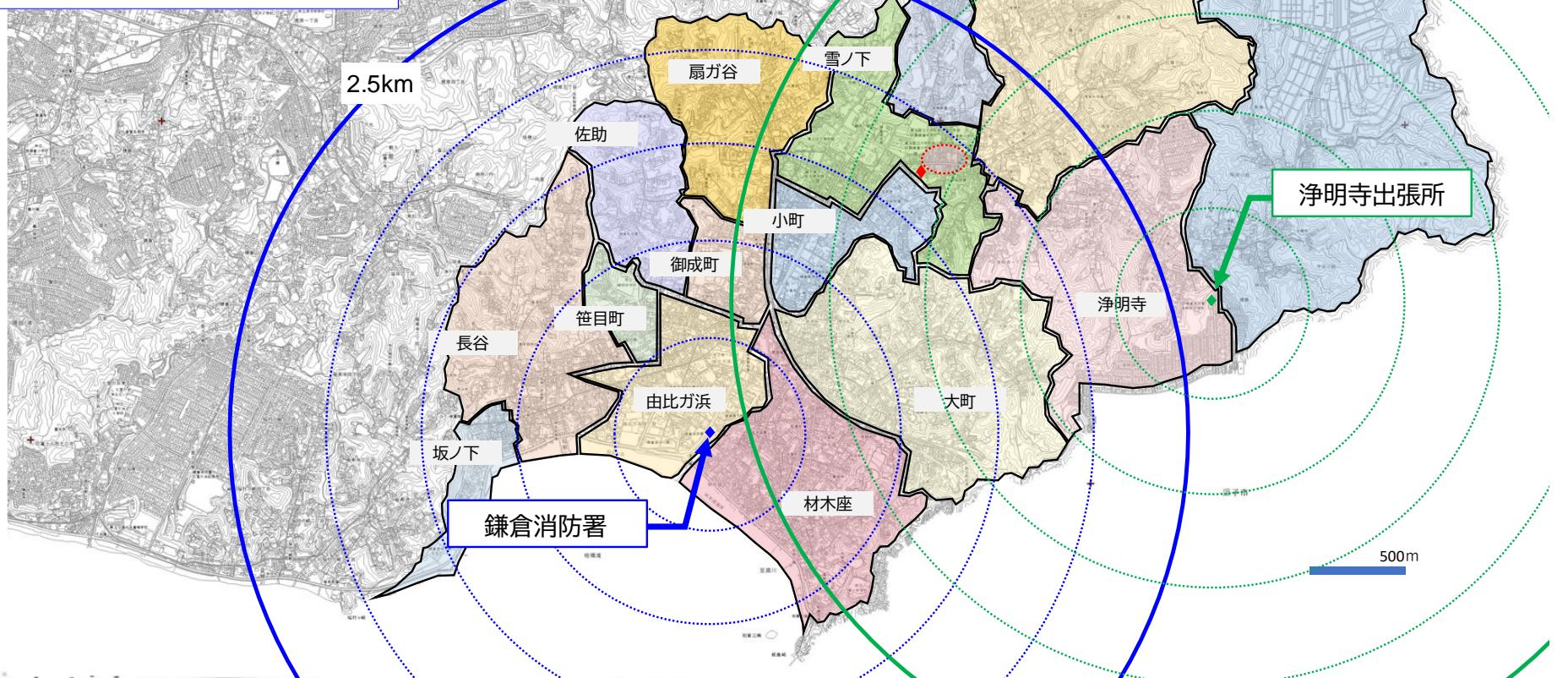
鎌倉消防署、浄明寺出張所の管轄エリア

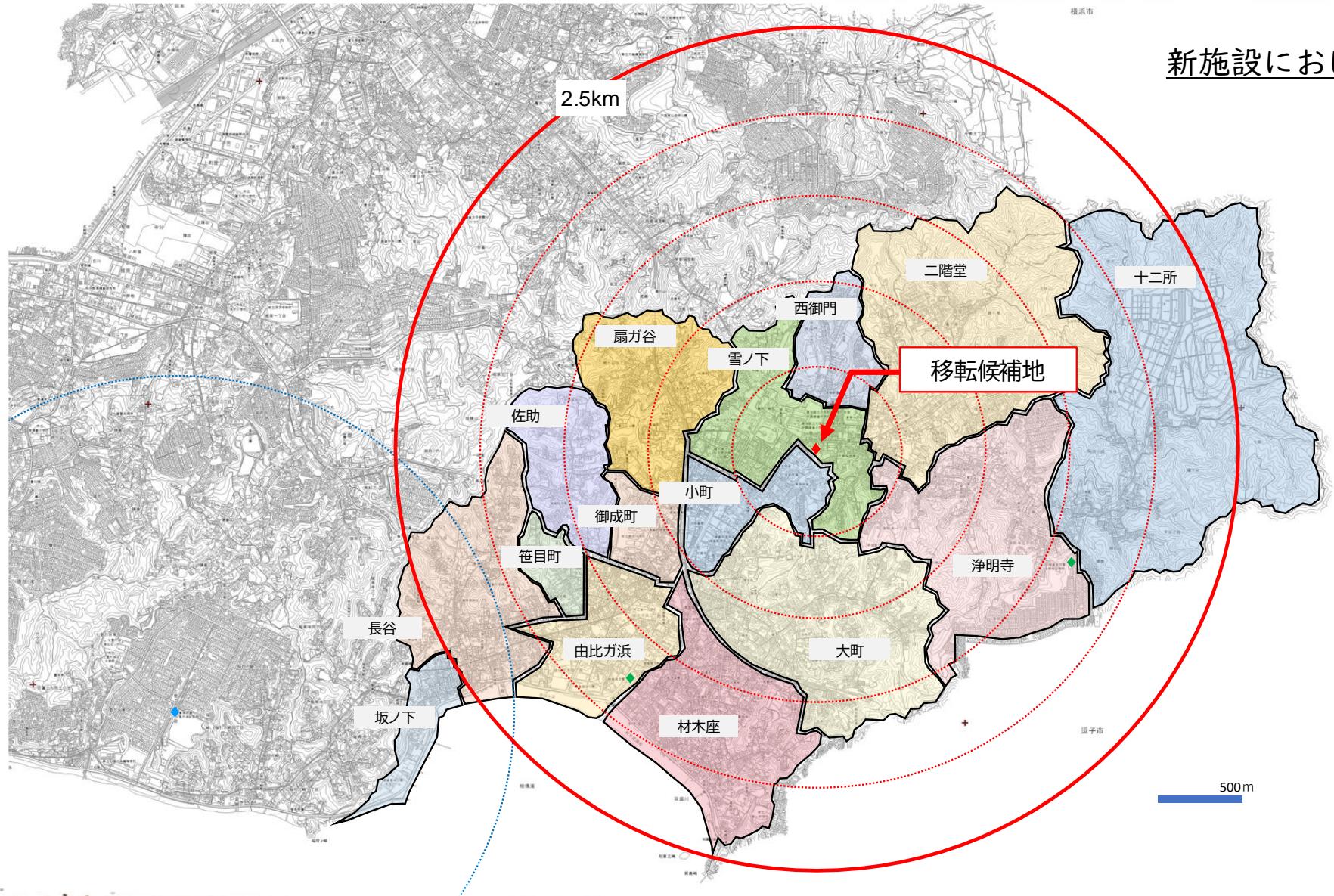
○鎌倉消防署の管轄エリア

小町、大町、扇ガ谷、材木座、由比ガ浜、  
御成町、笹目町、佐助、長谷、坂ノ下

○浄明寺出張所の管轄エリア

西御門、雪ノ下、十二所、浄明寺、二階堂







## 2 騒音調査結果の説明



## 調査の概要

- ・調査目的：現況の救急車サイレン音の状態を把握するために、現施設周辺及び雪ノ下地区で現地調査を実施した。
- ・調査方法：JIS規格に合致した騒音計を用いて実測
- ・調査日時：令和7年7月27日（日）  
0時～24時（24時間測定）

## 調査内容の概要

項目	内容
等価騒音 レベル ( $L_{Aeq}$ )	<p>測定時間内における平均的な騒音レベルを取得。</p> <p>▶消防施設の存在によって発生する騒音を含めた場合 /除いた場合の騒音レベルを比較し、施設の存在による周辺環境への影響を把握しました。</p>
騒音レベルの 最大値 ( $L_{max}$ )	<p>測定時間内における最大となる騒音レベルを取得。</p> <p>▶緊急車両の発進時・通過時などにより発生する騒音レベルを把握しました。</p>

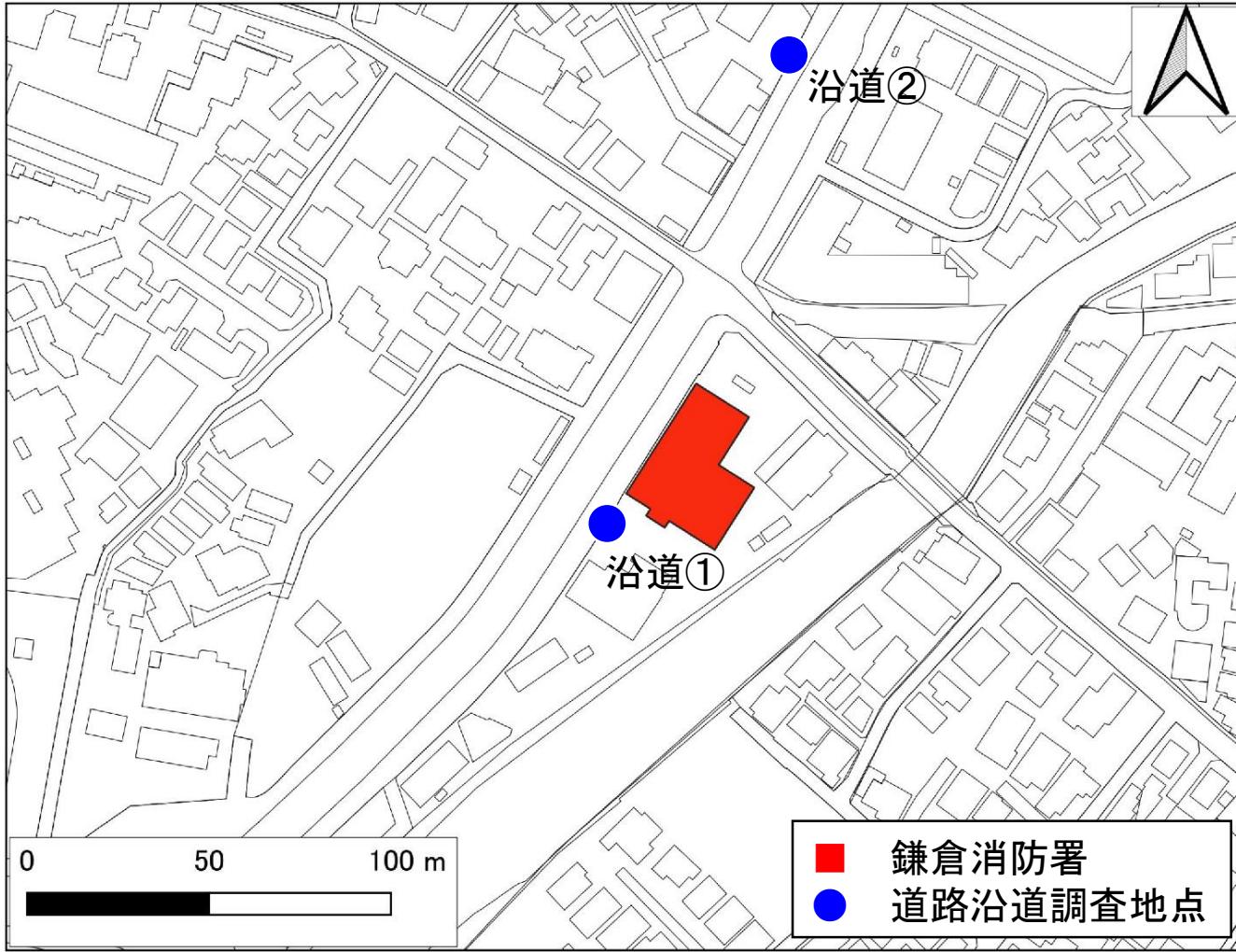


## 調査地点の概要

調査目的	調査地点
類似環境の現況把握	<p>①由比ガ浜地区（鎌倉消防署）</p> <p>②浄明寺地区（浄明寺出張所）</p>
移転先の現況把握	③雪ノ下地区

※調査地点①、②においては、道路沿道・施設の室内および室外で調査を実施しました。

## 調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）道路沿道



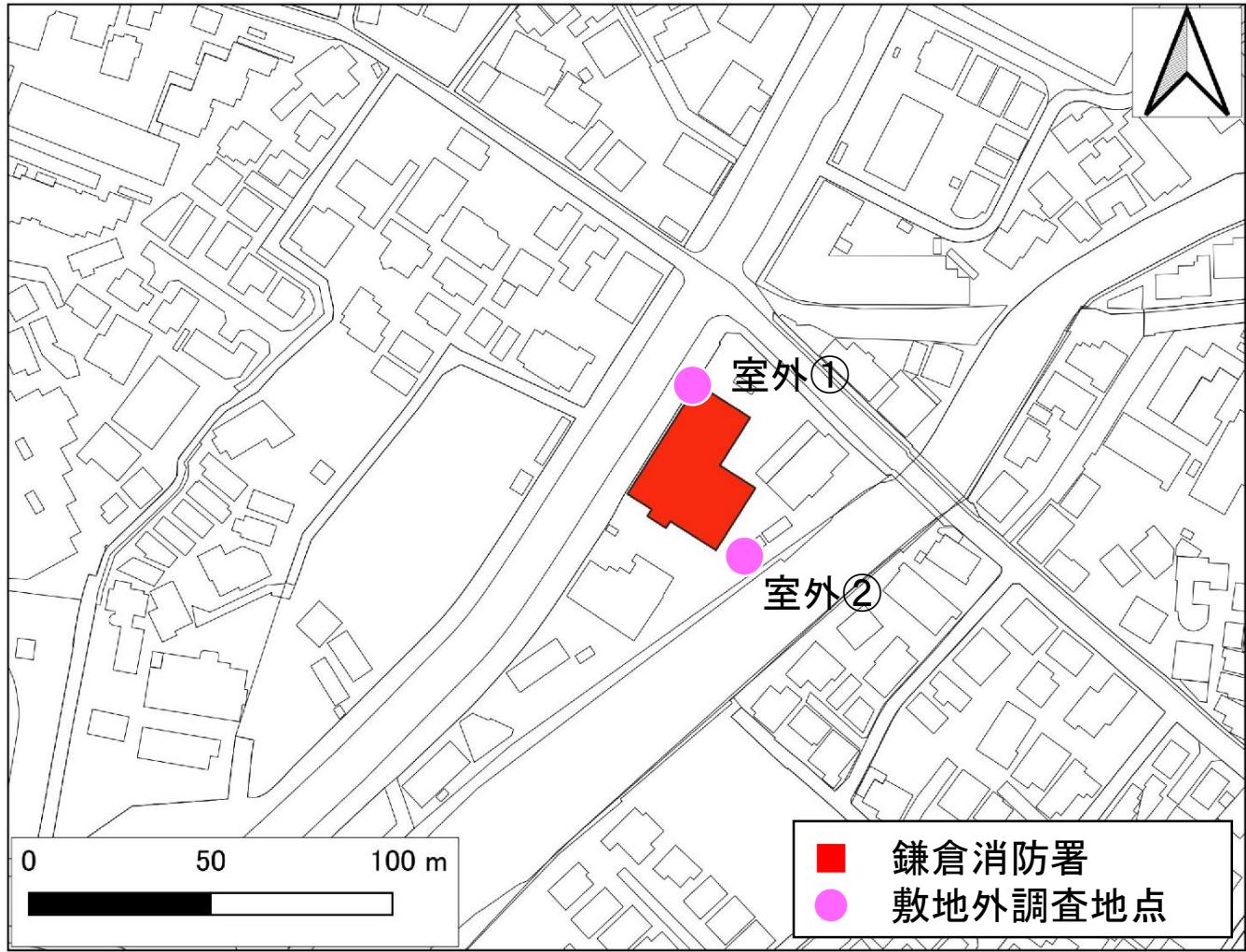


KAMAKURA CITY



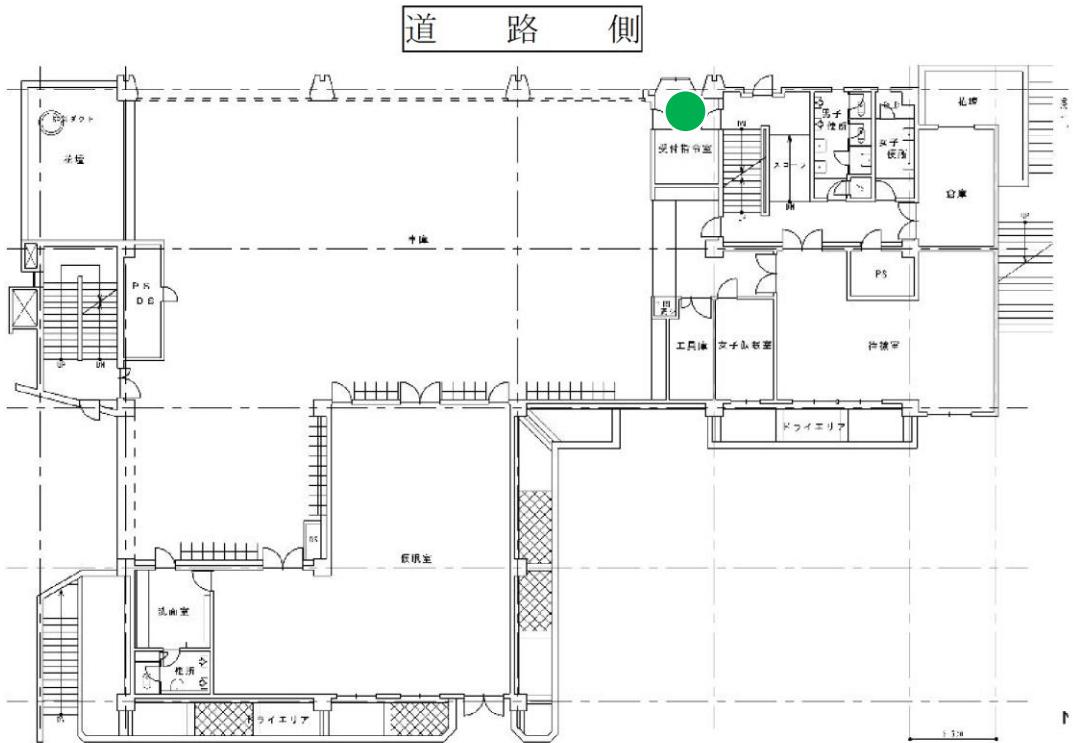
鎌倉市

## 調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）室外



## 調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）室内①（建屋1階）

1階平面図



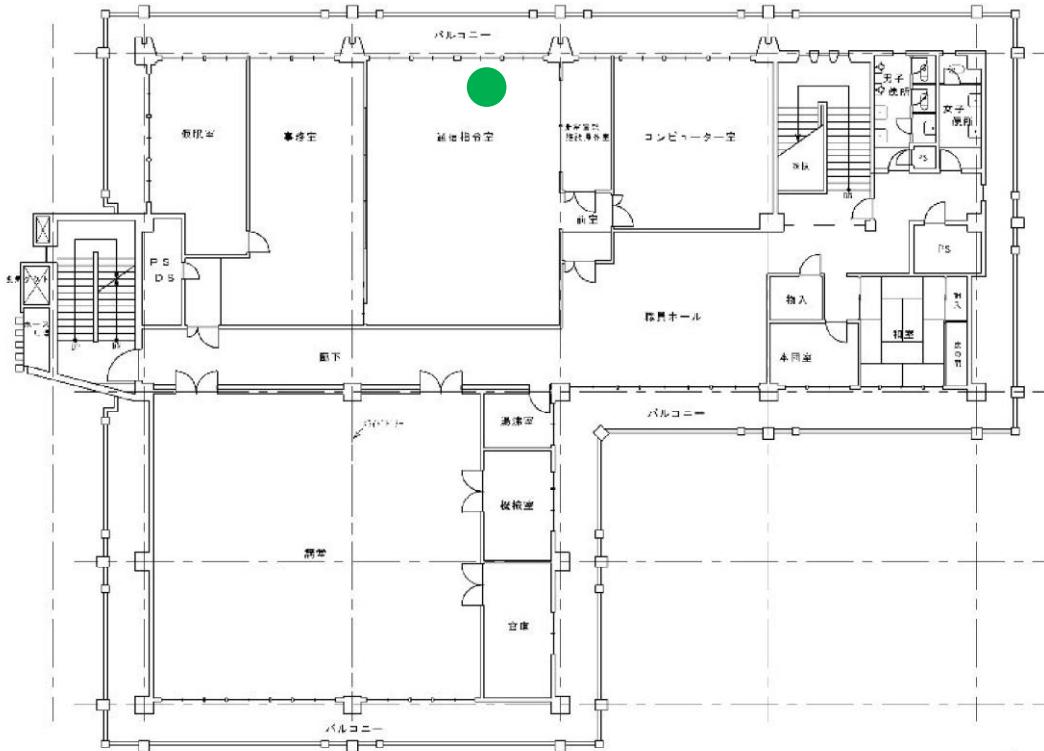
● 室内調査地点



## 調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）室内②（建屋3階）

道 路 側

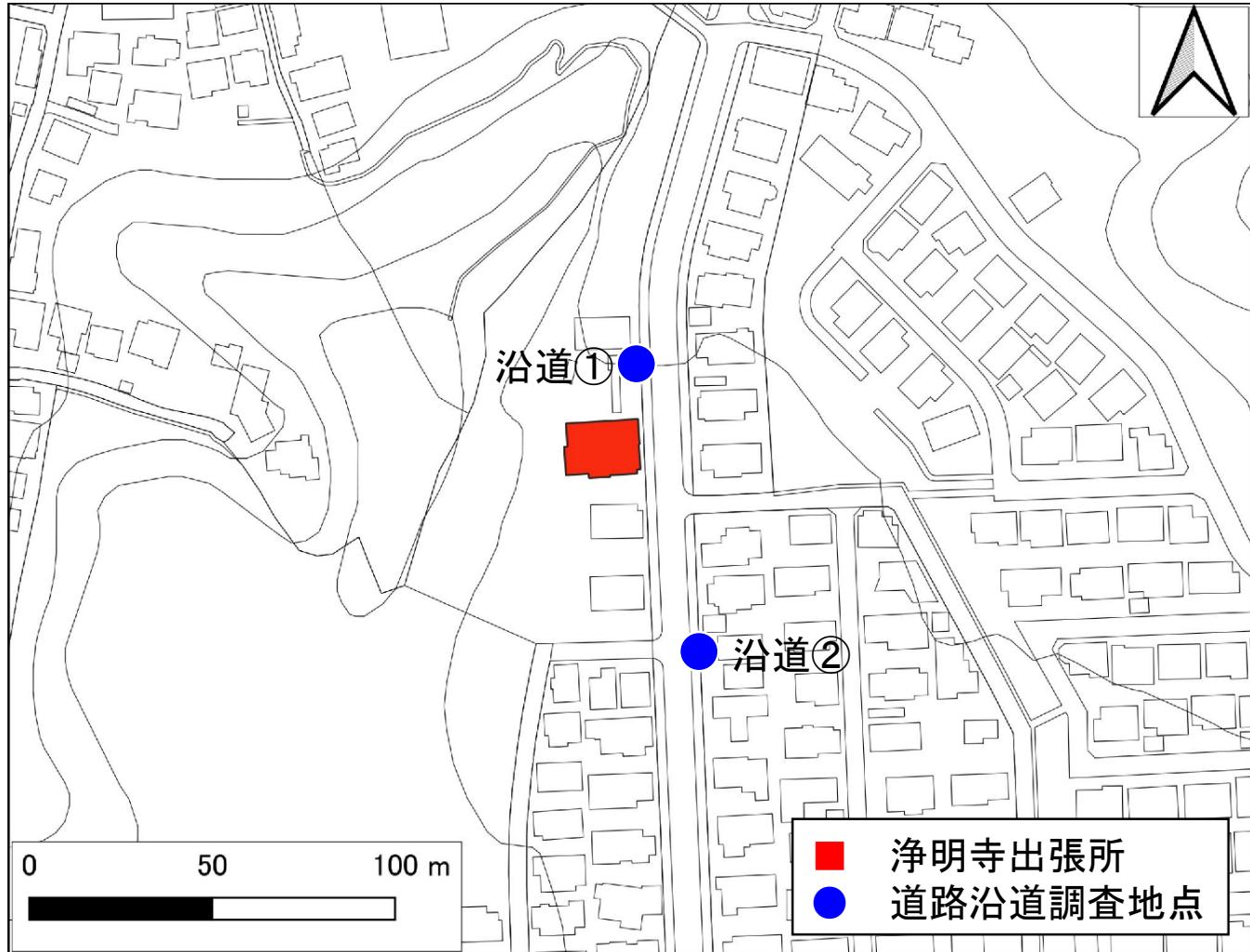
3階平面図



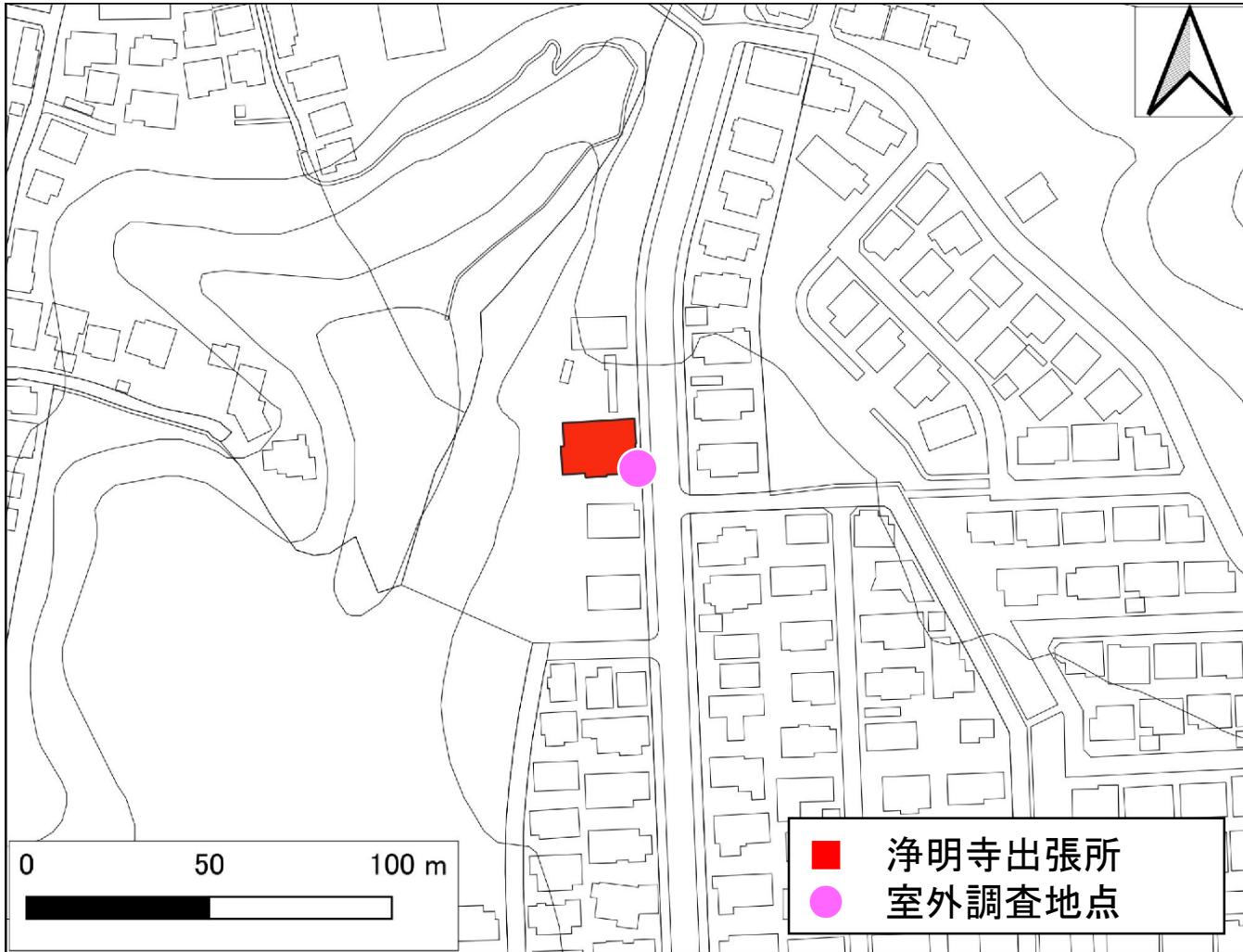
● 室内調査地点



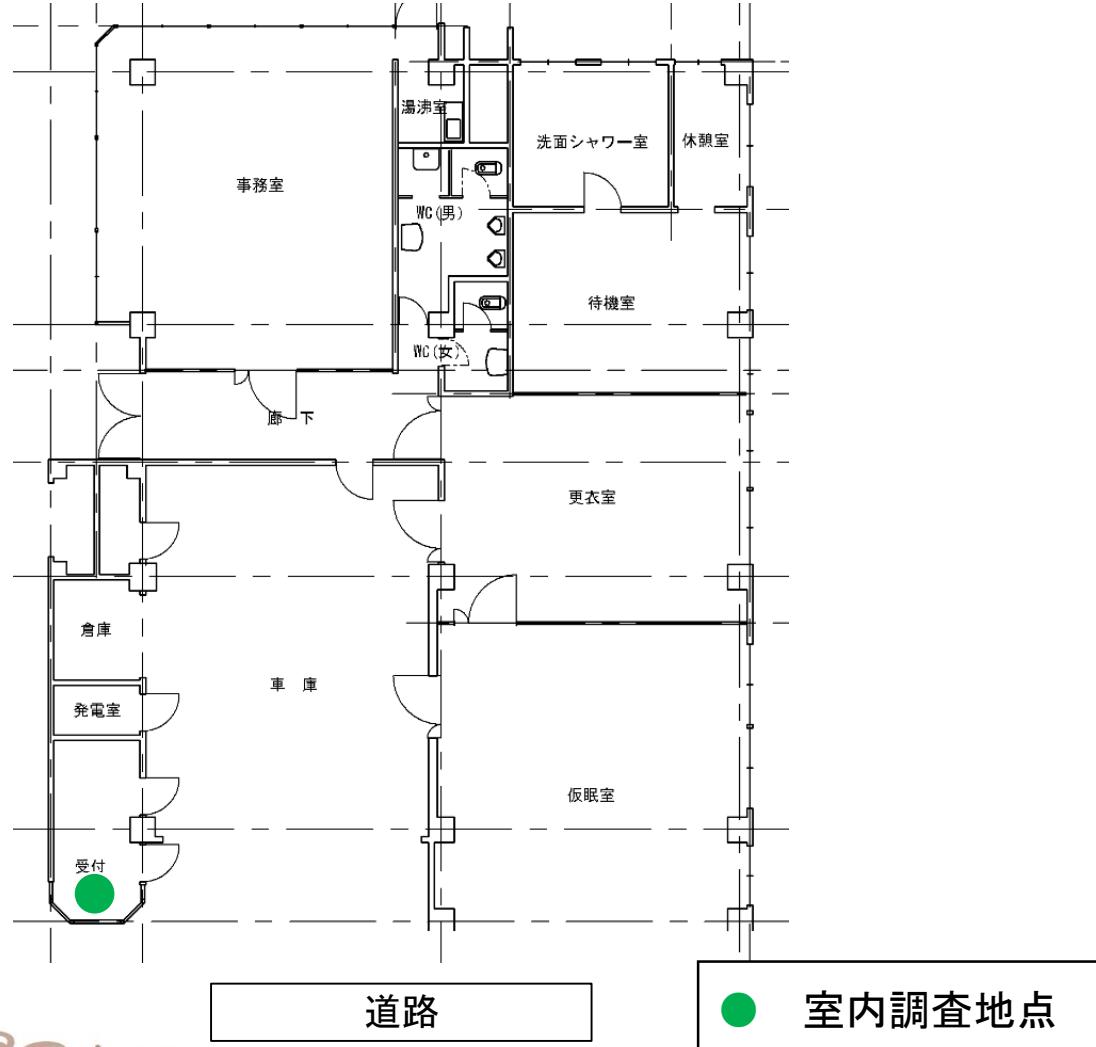
## 調査地点②：淨明寺地区（淨明寺出張所）道路沿道



## 調査地点②：淨明寺地区（淨明寺出張所）室外



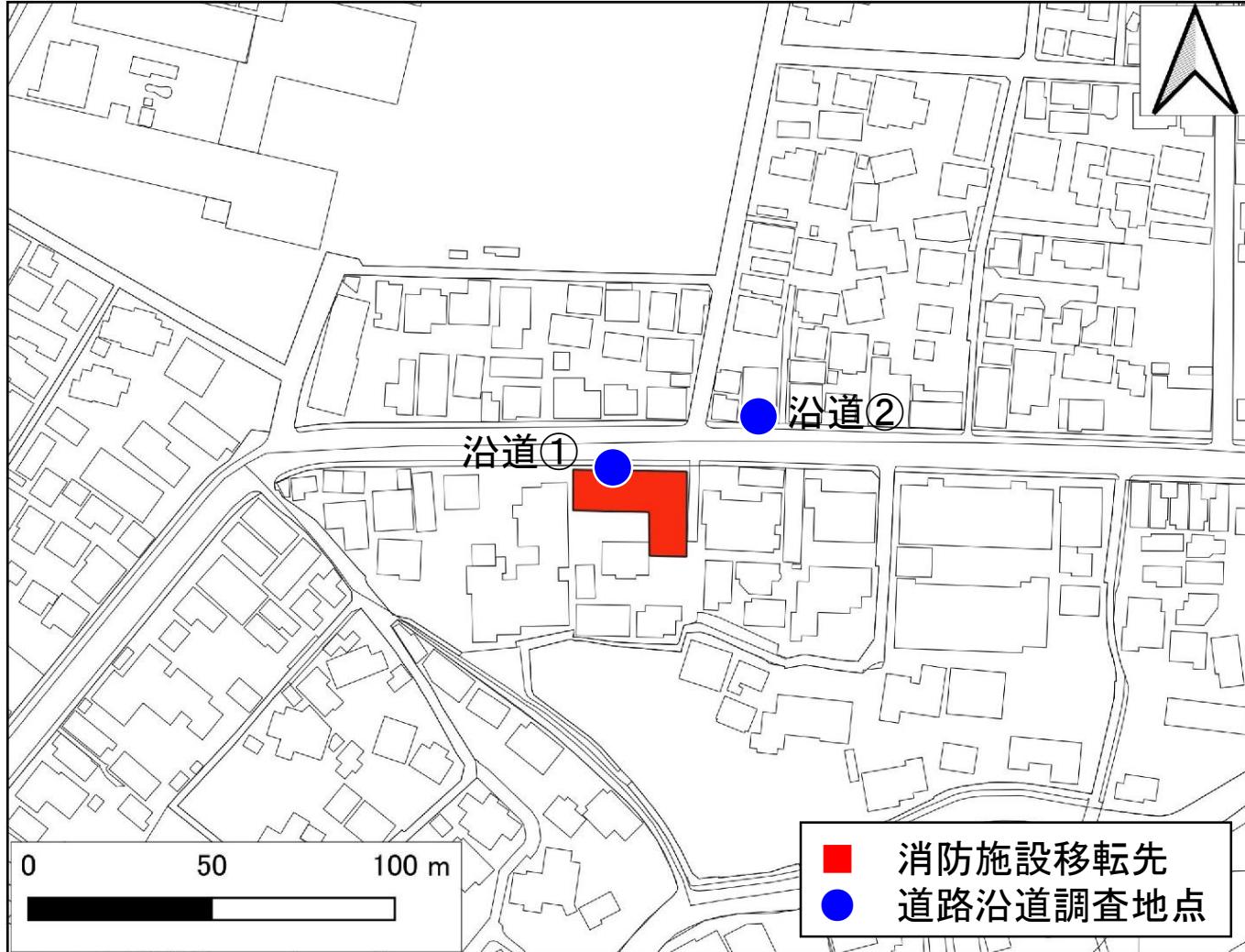
## 調査地点②：淨明寺地区（淨明寺出張所）室内





鎌倉市

## 調査地点③：雪ノ下地区（移転先） 道路沿道



# 騒音レベル最大値 ( $L_{Amax}$ ) 調査結果

調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）

区分	緊急車両出動時		緊急車両通過時		(参考) 大型車両 通過時
	除く	含む	除く	含む	
道路沿道	83dB	106dB	80dB	106dB	83dB
施設室内	95dB	95dB	95dB	95dB	83dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す

# 騒音レベル最大値 ( $L_{A\max}$ ) 調査結果

調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）

区分	シャッター開閉		室内放送	
	除く	含む	除く	含む
道路沿道	78dB	106dB	80dB	98dB
施設室内	93dB	93dB	95dB	95dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



# 騒音レベル最大値 ( $L_{Amax}$ ) 調査結果

## 調査地点②：浄明寺地区（浄明寺出張所）

区分	緊急車両出動時		緊急車両通過時		(参考) 大型車両 通過時
	除く	含む	除く	含む	
道路沿道	82dB	99dB	82dB	98dB	87dB
施設室内	93dB	93dB	86dB	86dB	85dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



# 騒音レベル最大値 ( $L_{Amax}$ ) 調査結果

## 調査地点②：浄明寺地区（浄明寺出張所）

区分	シャッター開閉		室内放送	
	除く	含む	除く	含む
道路沿道	78dB	99dB	80dB	96dB
施設室内	93dB	93dB	86dB	86dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



KAMAKURA CITY

鎌倉市

# 騒音レベル最大値 ( $L_{A\max}$ ) 調査結果

## 調査地点③：雪ノ下地区（移転先）

区分	緊急車両通過時		(参考)大型車両 通過時
	除く	含む	
道路沿道	87dB	107dB	86dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す

- ・消防施設の存在により、最大で107dB※の騒音が発生。  
※緊急車両走行時
- ・消防施設の存在により発生する騒音を含めた場合/除いた場合で騒音レベルを比較すると、道路沿道においては
  - ◎緊急車両出動時 : 23dB増加
  - ◎緊急車両走行時 : 26dB増加
  - ◎シャッター開閉時 : 28dB増加
  - ◎室内放送時 : 18dB増加
- ・施設室内においては騒音レベルはほとんど変わらなかった。

# 等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) 調査結果

調査地点①：由比ガ浜地区（鎌倉消防署）

区分		昼間		夜間	
		除く	含む	除く	含む
道路沿道	沿道①	63 dB	65 dB	62 dB	63 dB
	沿道②	64 dB	66 dB	61 dB	62 dB
施設室外	室外①	64 dB	66 dB	62 dB	62 dB
	室外②	55 dB	55 dB	53 dB	53 dB
施設室内	室内①	59 dB	59 dB	57 dB	57 dB
	室内②	38 dB	39 dB	37 dB	37 dB

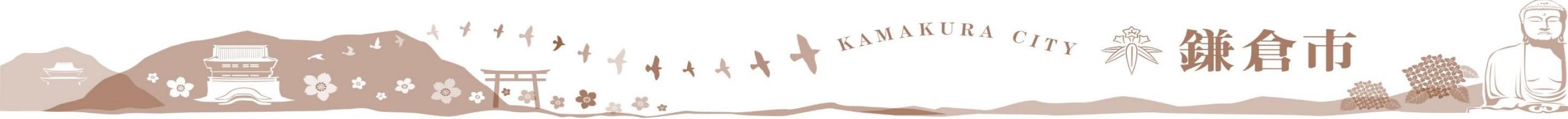
※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



## 調査地点②：浄明寺地区（浄明寺出張所）

区分		昼間		夜間	
		除く	含む	除く	含む
道路沿道	沿道①	64 dB	65 dB	59 dB	59 dB
	沿道②	64 dB	65 dB	59 dB	59 dB
施設室外	室外	68 dB	68 dB	60 dB	60 dB
施設室内	室内	60 dB	60 dB	46 dB	46 dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



- ・消防施設の存在により発生する騒音を含めた場合/除いた場合で騒音レベルを比較すると、  
**騒音レベルが最大で2dB増加することが判明。**
- ▶移転先である雪ノ下地区の将来の騒音レベルを算出しました。



## 調査地点③：雪ノ下地区（移転先）

区分		昼間		夜間	
		現況	将来 (現況+2dB)	現況	将来 (現況+2dB)
道路沿道	沿道①	65 dB	67 dB	59 dB	61 dB
	沿道②	65 dB	67 dB	59 dB	61 dB

※dB(デシベル)：騒音の大きさを表す



## まとめ

- ・緊急車両の出動のサイレン音等により瞬間的に100dB以上の大きな音が発生する。
  - ・地域の平均的な騒音の指標となる等価騒音レベルの增加分は、2dB程度であった。
- 
- ▶サイレン音等による騒音は一過性・短時間のものである。
  - ▶消防施設がない現況と比較しても地域の平均的な騒音レベルはほとんど変わらないと考えられる。



### 3 騒音予測結果の説明

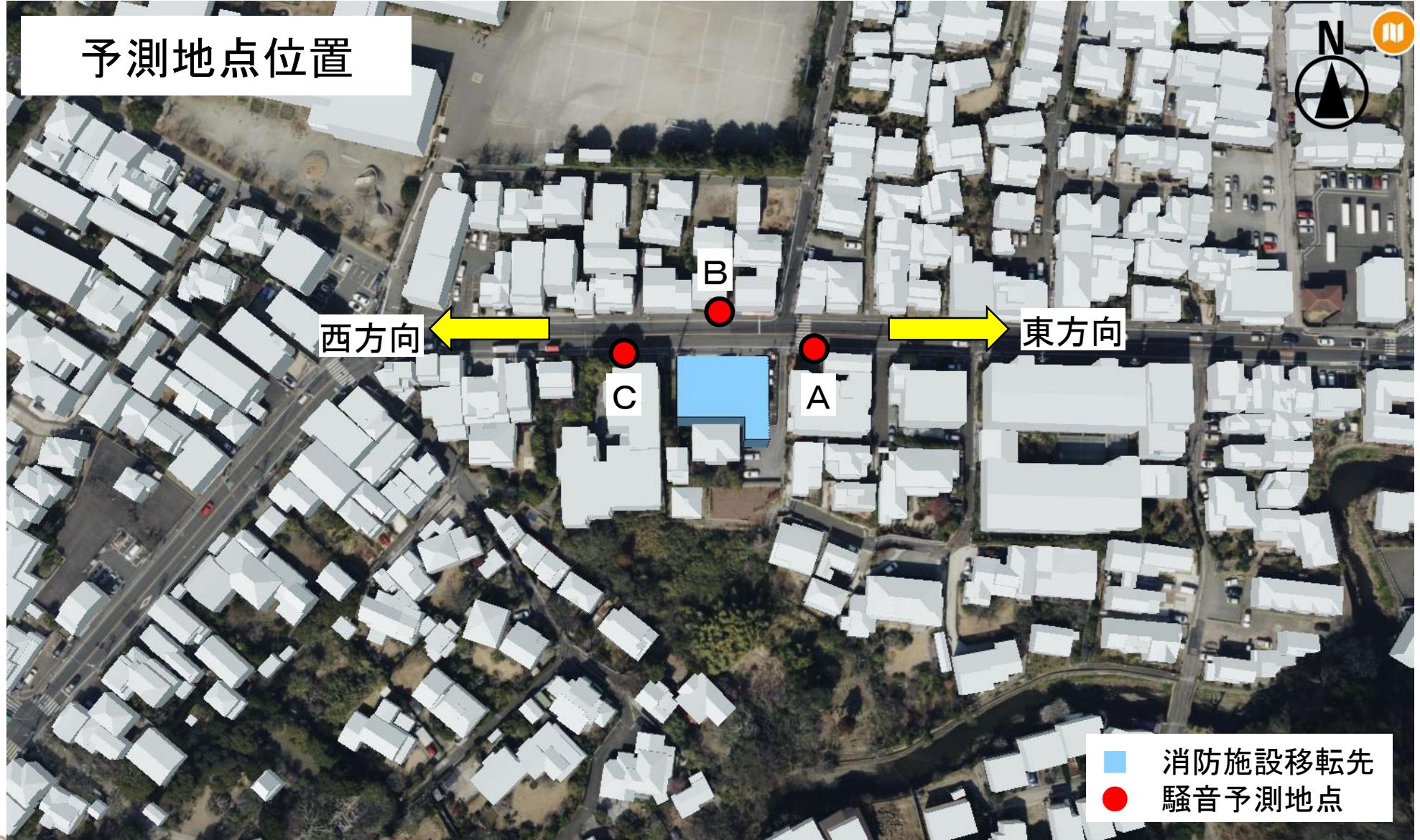


## 予測の概要

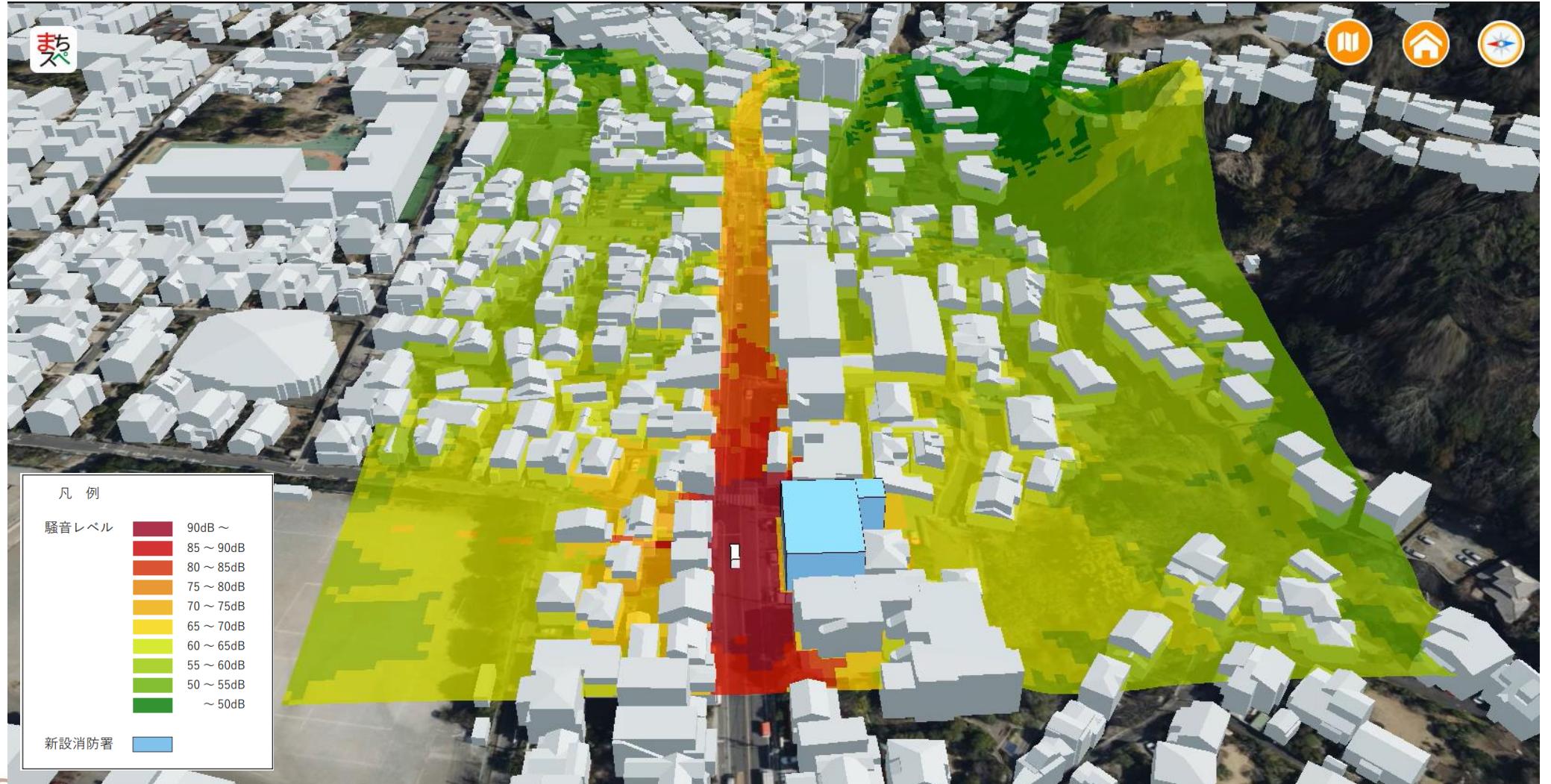
- ・ 予測目的：雪ノ下地区に移転した場合の最大騒音レベルを把握するため、現地調査結果を基に予測を行いました。
- ・ 予測地点：移転先の周辺にある民家を対象に3地点選定しました。



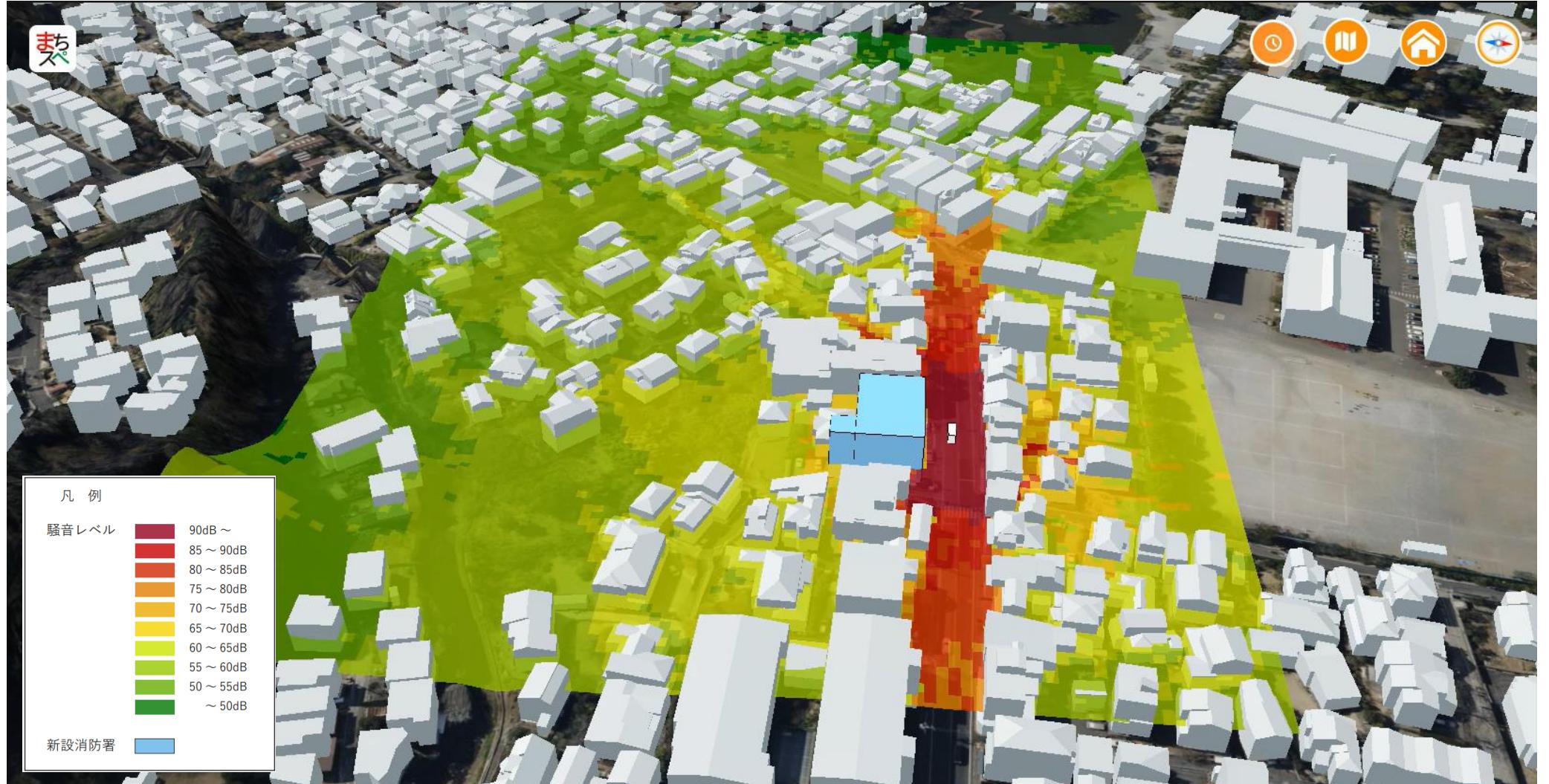
予測地点位置



## 緊急車両が東方向に向かった場合

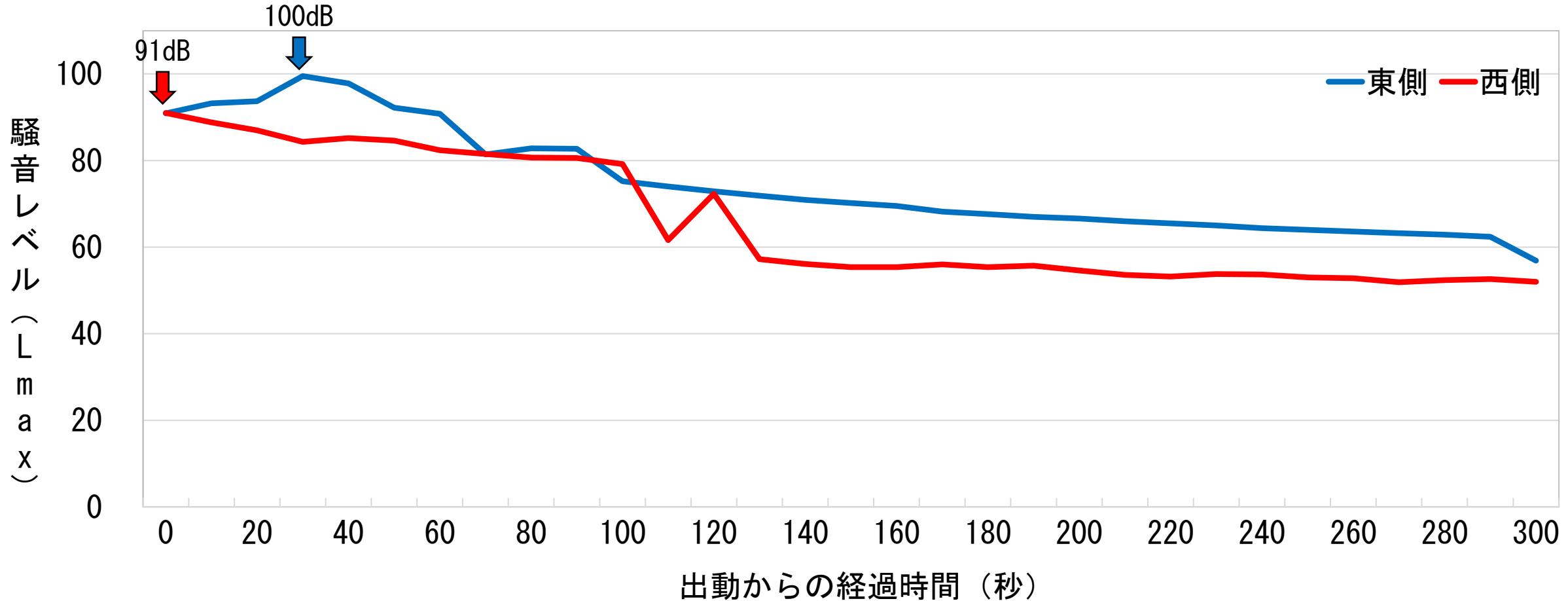


## 緊急車両が西方向に向かった場合

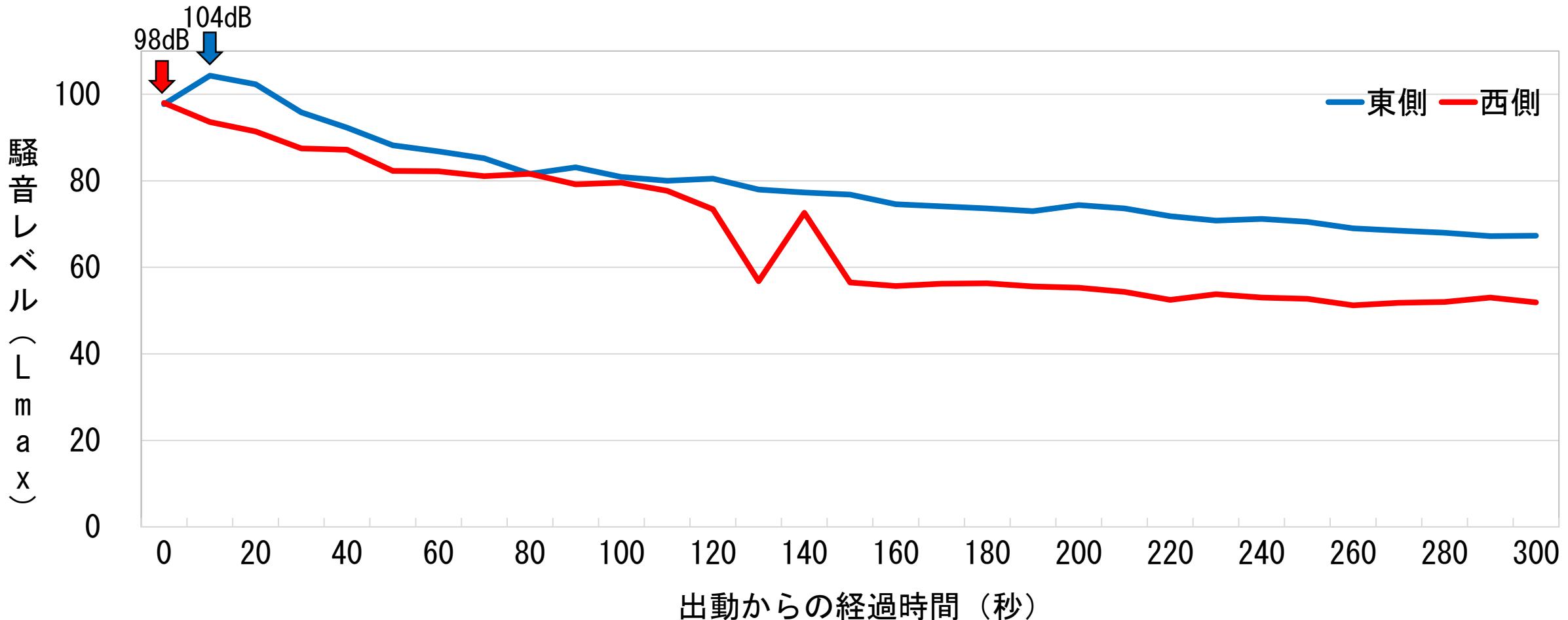




## 予測結果（A地点：西側の住居）

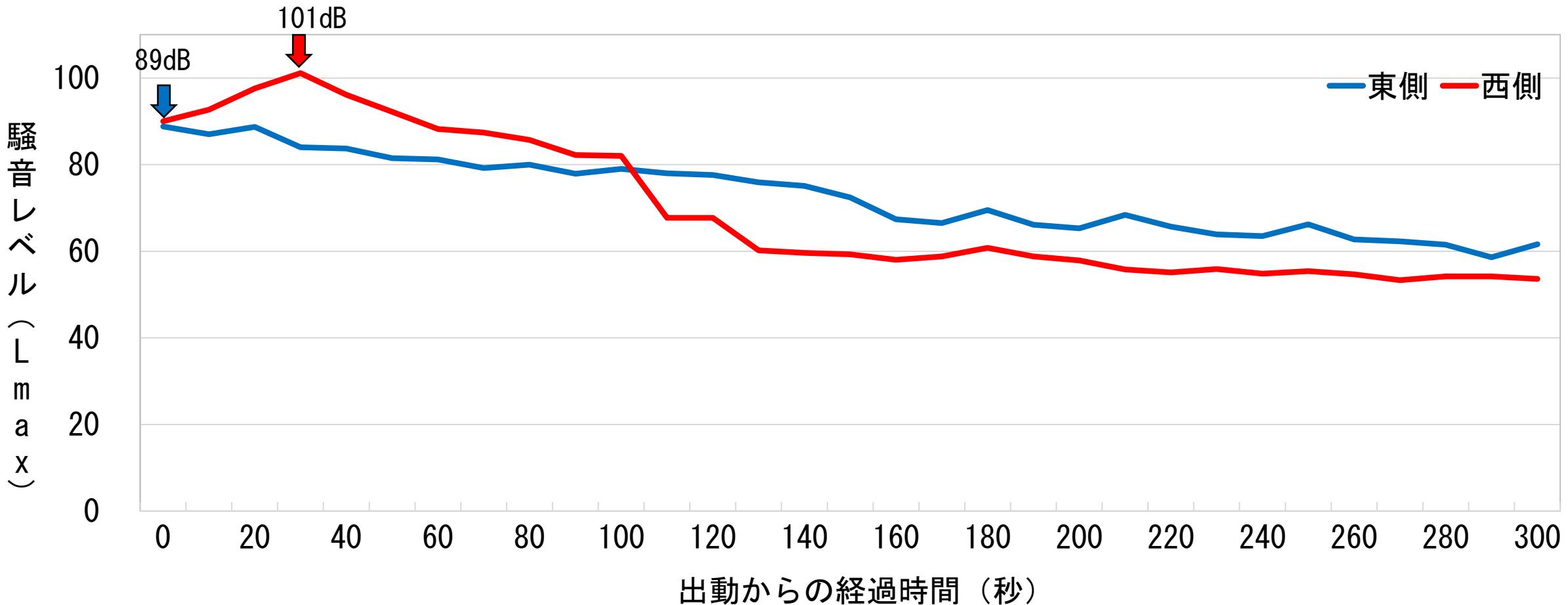


## 予測結果（B地点：対面の住居）





## 予測結果（C地点：東側の住居）





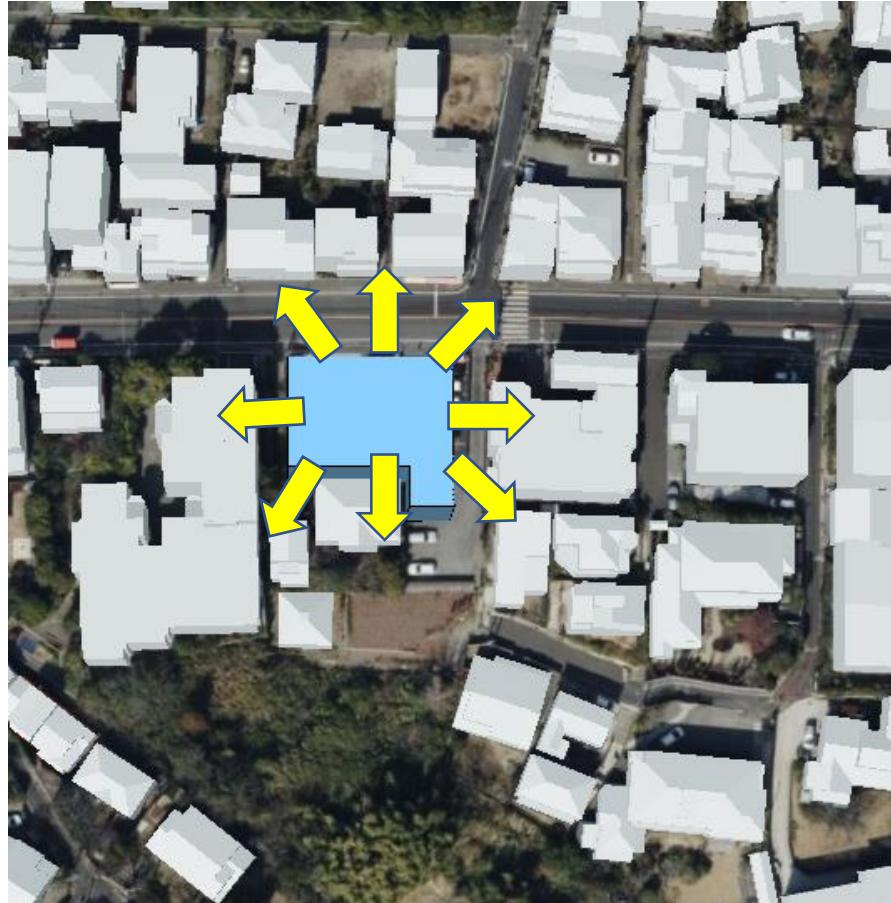
## まとめ

- ・緊急車両の出動等に伴い、現地調査結果と同様に、瞬間的に100dB以上の大きな音が発生する。
- ・調査結果より100dB以上の大きな音が発生する場合でも、地域の平均的な騒音レベルはほとんど変わらない。

# 騒音調査結果を踏まえた対策

## 調査の目的

- (1)消防庁舎から発生する音の現状把握、対策
- (2)調査結果を設計業者と連携
- (3)周辺住宅への影響を最小限に抑える建物設計



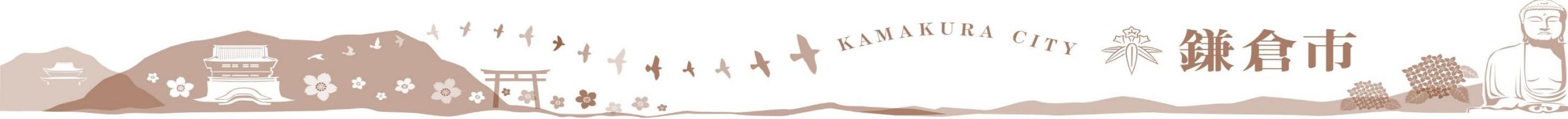


# 騒音調査結果を踏まえた対策

## (1)消防庁舎から発生する音の現状把握

災害出動に伴うもの

- ①室内放送時 : 18dB増加
- ②シャッター開閉時 : 28dB増加
- ③緊急車両出動時 : 23dB増加
- ④緊急車両走行時 : 26dB増加



# 騒音調査結果を踏まえた対策

## (1)消防庁舎から発生する音への対策

災害出動するまでに発生する音

①室内放送時

⇒ 建物、車庫の遮音設計

②シャッター開閉時

⇒ 静穏タイプのシャッターを採用

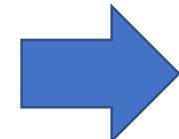
# 騒音調査結果を踏まえた対策

## (1)消防庁舎から発生する音への対策

火災救急などの出動時

出動に伴う救急車などのサイレン音

③緊急車両出動時



④緊急車両走行時

・コンフォートサイレンの採用

・フェードイン機能

・出動時の最大限の配慮

# 通常サイレン・コンフォートサイレンの違い

通常サイレン・コンフォートサイレン切替バージョン



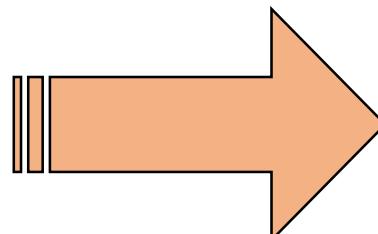
# 騒音調査結果を踏まえた対策

## (1)消防庁舎から発生する音への対策

通常時に発生する音として

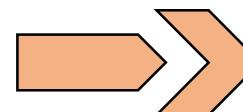
訓練で発生する音

※エンジン音を伴うもの  
(調査では最大92dB~99dB)



建物設計で検討

- ・建物配置
- ・屋内での訓練施設を計画



**設計業者と連携**

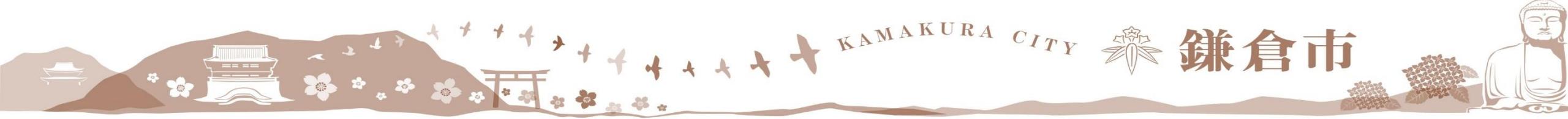


## 4 設計業者の決定



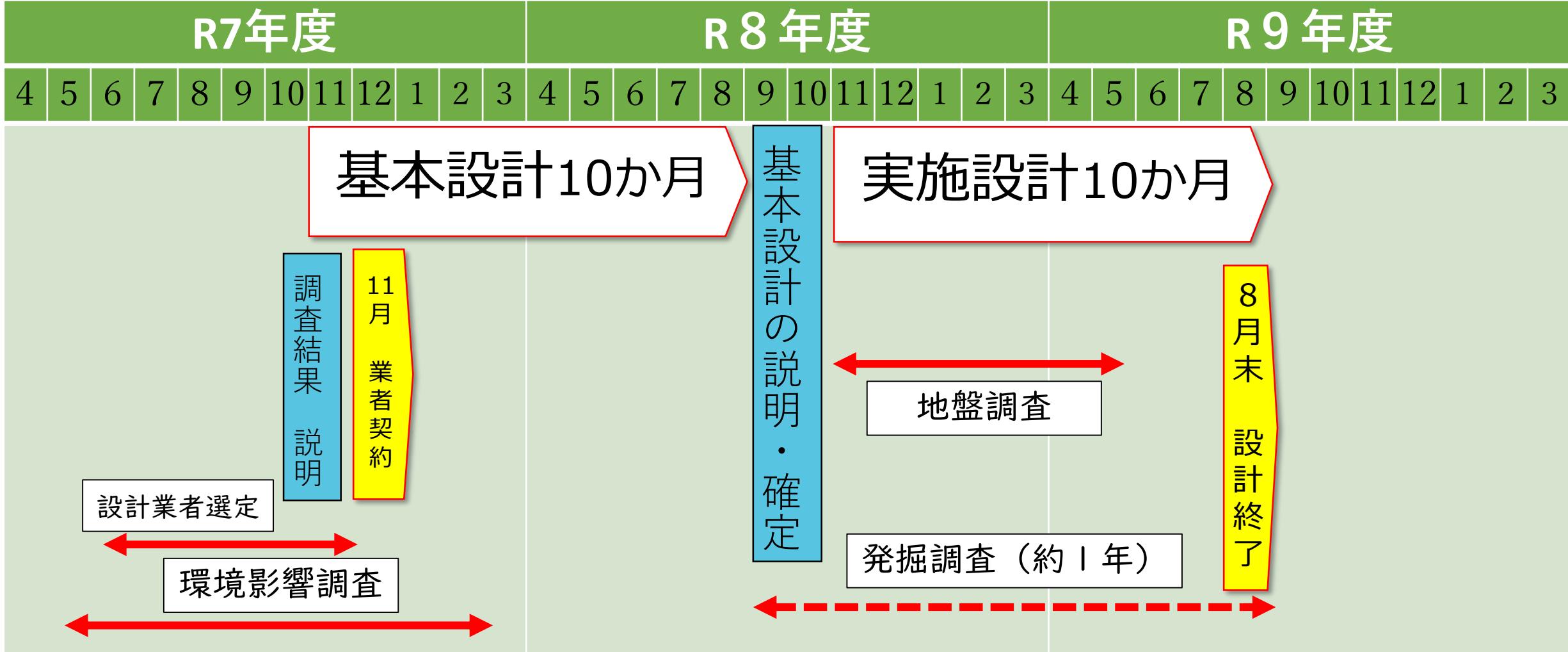
## 設計業者の決定

- ・ 設計業者：株式会社シーラカンスアンドアソシエイツ  
東京都渋谷区恵比寿西一丁目20番5号  
(令和7年11月7日契約)
- ・ 選定方法：公募型プロポーザル
- ・ 選定理由：
  - ①限られた敷地条件の中で周辺環境を考慮した設計や、街並みに調和する消防庁舎の提案が最も優れていた。
  - ②周辺地域への騒音配慮が最も優れている提案であった。



## 5 今後の流れ

## 設計業務等のスケジュール





皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。